

# 【月案】11月・1歳児

## 今月の保育のポイント

- 戸外でどんぐりや落ち葉など秋の自然に触れ、親しんで楽しむ。友達と同じことをして遊び、楽しみを共有していく体験を重ねる。
- 朝夕の気温差が大きいので、保育室での暖房の入れ方や衣服の調整を保護者と連携しながら進めていく。
- 子どもの自立したい気持ちと甘えたい気持ちで揺れる姿を受け止め、毎月同じようなことでも、積み重ねていくことをねらいとして継続して続けていく。
- 子どもの様子から出来ないところだけをさり気なく援助し、自分で自分のことをやりたい気持ちを大事にする。
- 子どもが分かりやすいように、箱におもちゃの種類ごとの写真を貼るなどし、子どもが自分で取り出し片付けやすいように環境を作っていく。
- 喧嘩などのトラブル時は互いの子どもの気持ちを受け止めながら、ゆっくりと言葉で伝えていくようにする。

## 月のねらい

- 散歩や戸外遊びを通して自然に触れ、興味を持つ。
- 保育者を通して友達とも関わりを持ち、一緒に好きな遊びを楽しむ。
- 風邪の予防などをしてもらいながら、元気に過ごす。
- 行動や単語から思いを代弁し、情緒の安定を図る。
- 歩いたり、走ったりしながら全身を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 様々な人や遊びに興味を持ち、主体的に関わって遊ぶ。

## 週のねらい

### その1

- 1週目：身の回りのことを自ら行おうとする（養護）
- 2週目：保育者の真似をしながらリズム遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：落ち葉などの秋の自然に触れて遊ぶ（教育）
- 4週目：友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう（教育）

### その2

- 1週目：保育者や友だちとの言葉のやり取りを楽しんで遊ぶ（教育）
- 2週目：ごっこ遊びなどをしながら、言葉で表現しようとする（教育）
- 3週目：保育者や友達に関心を持ちながら好きな遊びを楽しむ（教育）
- 4週目：気温の変化に十分に注意して健康的に過ごせるようにする（養護）

### その3

- 1週目：心地良い気候の中、のびのびと体を動かして遊ぶことを楽しむ（教育）

- 2週目：伝えたい気持ちを代弁しながら受け止め、安定して過ごせるようにする（養護）
- 3週目：指先を使った遊びに興味を持ち、集中して遊ぶ（教育）
- 4週目：お絵描きや製作を楽しむ（教育）

## その4

- 1週目：ボールや固定遊具で遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：手遊びや歌に合わせて声を出したり、手足を動かすことを楽しむ（教育）
- 3週目：室内環境を整えたり、玩具の消毒を行い、感染症予防に努める（養護）
- 4週目：絵本の読み聞かせを喜び、指差ししたり言葉を真似したりする（教育）

## 前月末の子どもの姿

### 養護（生活）

- スプーンを持って食事を進める姿が見られ、少しずつ自分でうまくすくえるようになってきている。
- 手洗いの際には自分で手を合わせて腕を伸ばし、洗おうとする姿が見られた。また、袖をまくろうとする姿が見られる子どももいる。
- トイレに座っての排泄が成功し、保育者と一緒に喜ぶことができた。連続して成功すると、自慢げな顔をしており、自信に繋がっている様子も見られた。まだまだタイミングには個人差があり、オムツに出てしまっている子どももいる。
- 衣類の着脱の際には、保育者に手伝ってもらいながら少しずつ自分で着ようとする意欲が見られるようになってきている。腕を通したりズボンをあげたりしようとするしぐさが増えてきている。
- 保育者や友達と一緒に運動会やハロウィン会等の行事に参加し、様々なことに興味を示しながら楽しむ様子が見られていた。
- 食材に興味を持ち、「なあに？」と聞き名前を反復する。
- 身の回りのことを保育者が手伝おうとすると、手を払いのけたり、「○○ちゃんがする」と言葉にする。
- 友達を見つけたり、写真を見ると「○○ちゃん」と名前を言う。

### 教育（遊び）

- 好きな遊びを保育者と楽しんだり、同じ遊びに興味を持った友達と一緒に関わったりして遊ぶ姿が見られる。時にはおもちゃを取られてしまったりいざこざになり、泣いてしまうこともあるが、繰り返し遊ぶことで友達に興味を持ち始めている。
- 身の回りのものに興味を持ち始め、気になるものや友達がいれば指さしや言葉で保育者に伝えようとする子どもが増えてきた。
- 音楽に合わせて身体を動かしたり、保育者との触れ合い遊びを喜んだりし、多くの子どもが物事への興味や関心に広がりが出てきている。
- 戸外遊びの際には砂遊びや木の実、トンボなどの生き物にも興味を持ち、見たり触れたりすることができていた。
- 保育者に話しかけられると、簡単な言葉で反応したり仕草や態度で示したりする姿が見られた。
- 「どうぞ」「やって」等の簡単な言葉で自分の気持ちを伝えながら遊んでいる。
- シールの貼り外しや紐通し、ボタン玩具等で集中して遊ぶ姿が見られている。
- 好きな歌や絵本があり、繰り返し楽しんでいる。
- 固定遊具や運動用具で積極的に遊ぶ。勢いあまって危ない様子も見られている。

- 保育者の言葉の模倣が盛んになり、語彙数も増えてきた。

## 活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

### 養護（生活）

- **活**：保育者に励ましたり見守られたりしながら、苦手なものも少しずつ自分で食べてみようとする。（健康）  
**環**：自分で苦手な食べ物が分かり、除けて食べる姿も見られるようになってくる。保育者が食べている姿を見せたり声をかけたりすることで、食べてみようとする意欲が湧くようにしていく。
- **活**：トイレで排泄することに慣れる。（健康）  
**環**：排泄の感覚がなかなか掴めず、おむつに出してしまう子どももいる。一人ひとりの成長や様子に合わせて、トイレでの排泄に少しずつ慣れられるようにしていく。
- **活**：保育者に援助してもらいながら、自分でズボンの上げ下げを行う。（健康）  
**環**：衣類の着脱に意欲的になり、自ら袖を通したりズボンの着脱をしたりしようとする子どもも増えてくる。時間がかかるが、その意欲を認め、自分で挑戦できるように見守っていく。前後を確認などは難しいため、必要に応じて援助を行うが、やりすぎないように注意する。
- **活**：脱いだ靴や衣類を自分のロッカーに入れようとする。（健康）  
**環**：自分のロッカーや棚がわかりやすいよう、マークをつけたり場所を決めたりしておく。
- **活**：スプーンやフォークを下から握って食べようとする。（健康）  
**環**：保育者が手を添えたり、持ち方を見せながら徐々に丁寧に伝えていく。
- **活**：服の前後を保育士と確認しながら着脱をする。（健康）  
**環**：服のポケットの位置やプリントを目印に「ポケットの方が後ろだね」等、子どもが理解できるように言葉をかける。
- **活**：手や服の汚れに気付き、綺麗にしようとする。（健康）  
**環**：拭き取った汚れを一緒に見たり、鏡で確認しながら進める等、子どもが変化に気付けるように進めていく。
- **活**：感染症に留意しながら、健康に過ごせるようにする。（健康）  
**環**：担任間で流行しやすい感染症について共有しておく。咳や鼻水、機嫌等に留意しながら小まめな検温を行い、早期対応出来るようにする。
- **活**：喜怒哀楽の様々な感情を受け止めてもらいながら、安定して過ごす。（健康）  
**環**：言葉や行動で伝えようとしている思いを「嫌だったね」「○○したいね」「楽しいね」等と簡単な言葉で代弁しながら受け止め、安心した気持ちで自己表現できるようにする。
- **活**：保育者と一緒に鼻かみをして心地良く過ごす。（健康）  
**環**：「鼻水綺麗にしようね」「ばい菌バイバイしよう」等と声をかけながらそっと鼻拭きを行い、清潔にする心地良さを感ぜられるようにする。自分でやろうとしている時は見守ったり、仕上げ拭きを行う。
- **活**：絵本や食事を通して身近な食材に興味を持つ。（健康）  
**環**：身近な食材や旬の食材が出てくる絵本の読み聞かせや手遊びを通して日々食材に触れたり、食事の際に名前を知らせながら興味に繋げる。
- **活**：友達の名前に興味を持ち、名前が分かるようになる。（人間関係）  
**環**：保育者が子どもの名前を親しみを込めて呼び、友達の名前に気付けるよう関わっていく。顔と名前が一致してきている姿を笑顔で認めて友達への関心に繋げていく。
- **活**：心地良い環境の中でぐっすりと眠ったり、体を休めたりする。（健康）  
**環**：室温や寝具を調整したり、咳や鼻水の症状に合わせて寝る姿勢を調整する。早く目覚めてし

まった時は、体に優しく触れて再入眠できるよう関わったり、落ち着いて過ごせるような遊びで体を休められるようにする。

- **活：**ファスナーやボタン等に興味を持ち、やってみようとする。（健康）  
**環：**興味を持つ姿を受け止めながら途中まで援助することで、ファスナーの開閉やボタンを外す楽しさ、意欲に繋げていく。
- **活：**「おはよう」や「バイバイ」等、生活で使う言葉を真似して使おうとする。（人間関係・言葉）  
**環：**どのような場面でどのように使うのかを示しながら、真似して挨拶する姿を笑顔で認め、自然に挨拶できる雰囲気を作っていく。

## 教育（遊び）

- **活：**ままごとなどを通して、生活の模倣遊びや再現遊びをする。（表現）  
**環：**ご飯を食べるなどの生活の模倣遊びが少しずつできるようになってくる。イメージを持って遊べるよう、保育者も一緒に楽しんでいく。
- **活：**友達に関心をもち、関わって遊ぶ楽しさを味わう。（人間関係）  
**環：**友達の存在に気づき、関心が持てるよう、保育者が仲立ちしながら友達との関わりを作っていく。お互いの気持ちを代弁しながら、楽しい雰囲気の中で関わりが持てるように配慮する。
- **活：**戸外では異年齢の友達とも一緒に遊び、年上の友達と触れ合う楽しさを知る。（人間関係）  
**環：**子ども同士の関わりの中で、話したい気持ちを大切にしゆったりとした雰囲気づくりを心掛ける。やり取りが難しい場合は互いの思いを代弁しながら保育者が仲立ちする。
- **活：**保育者の真似をしながら音楽に合わせて身体を動かし、簡単なリズム遊びを楽しむ。（表現）  
**環：**リズム遊びを行う際には、早すぎる曲などを選択しないよう注意する。子どもがしっかりと身体を動かしながら楽しめるものを選ぶ。
- **活：**好きな遊具や乗り物などを使って存分に遊ぶ。（環境）  
**環：**遊具などで遊ぶ際には、転落などが起きないように、高い場所や滑りやすいところには保育者が必ずついておく。また、子どもの行動を把握し、危険なく遊べるように見守る。
- **活：**自分の気持ちや欲求を身振りや片言で表現しようとする。（言葉）  
**環：**普段の遊びの中から「これください」などのやり取りを楽しめるように環境を整えておき、保育者も一緒に楽しみながら言葉の表現の楽しさを積み重ねていく。
- **活：**落ち葉などに触れ、秋の自然に興味を持つ。（環境）  
**環：**どんぐり等秋の自然を入れられるバッグを作っておき、十分に遊べるように時間に余裕をもっておく。
- **活：**のびのびと追いかっこ等、全身を使って遊ぶ。（健康）  
**環：**保育者も全身を動かして率先して遊ぶ。しっぽを付けて子ども達が取りに行くなど、分かりやすい動機と目標を設定する。
- **活：**クレヨンや絵具を使い、好きな色で絵画活動を楽しむ。（表現）  
**環：**子どもの描く姿から手指の操作を観察しながら、「いい色で素敵だね」等認める声掛けや、「ここも一緒に塗ってみようか」など、意欲を大切にしながら声をかけていく。
- **活：**秋に出てくる虫、落ち葉やドングリ類の木の实などに触れて楽しむ。（環境）  
**環：**虫カゴや代わりになるケースをもっていき、子どもが集めて触れ合えるようにする。「つるつるだね」「コロコロ転がって楽しいね」等、質感の気づきや感情に寄り添う声掛けをする。
- **活：**様々な遊びに興味を持ち、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。（環境）  
**環：**発達や安全面に留意しながら環境を整え、楽しさに共感しながら、様々な玩具や物の使い方や存在を認知することに繋げていく。
- **活：**身近な物や人、動物が分かり、問われると指差しや言葉で答える。（環境）  
**環：**理解したり答えようとしている姿を笑顔で認めながら、認知や表現力に繋げていく。又、日常的に周囲の物や様々な事について保育者が率先して伝えていく。



- **活**：友達と手を繋いで歩けるようになり、繋ぐことを喜ぶ。（人間関係）  
**環**：園内散歩や園庭等で友達と手を繋いで歩く機会を設け、触れ合う喜びに繋げる。嫌がる時は無理なく関わる。
- **活**：少しずつ二語文が出始める。（言葉）  
**環**：保育者が正しい言葉に関わり、使ってほしくない言葉は使わないようにする。二語文を大いに受け止め、必要に応じて言葉を補いながらやりとりの楽しさや言葉の獲得に繋げていく。
- **活**：好きな歌の一部を覚えて、一緒にうたうことを楽しむ。（表現）  
**環**：楽しい雰囲気の中、ペープサートやパネルシアター等も用いてうたっていくことで、うたう楽しさや歌を親しむ気持ちに繋げる。
- **活**：小麦粉や片栗粉、マカロニ等を使った感触遊びを楽しむ。（環境）  
**環**：口に入れてしまわないよう留意しながら、感触や形の変化を楽しめるよう保育者も一緒に遊ぶ。
- **活**：散歩に出かけ、園外の発見や出会いを喜ぶ。（環境）  
**環**：十分な散歩の時間を設け、地域の方と交流したり、園外ならではの物や自然を見たり触れたり出来るようにする。
- **活**：太鼓やマラカス、鈴等の楽器を鳴らすことを楽しむ。（環境・表現）  
**環**：扱い方を分かりやすく伝えながら、音が鳴る楽しさに共感していく。様々な音やリズムに触れられるよう関わる。
- **活**：絵本の読み聞かせを喜び、好きな場面を繰り返し楽しむ。（環境・言葉・表現）  
**環**：指差しや反応を受け止めながら読み聞かせをする。1つの場面が終わる前に次々とページをめくっていくこともあるが、興味を示すページと一緒に楽しむことで絵本を親しむ気持ちに繋げる。

## 健康、安全面で配慮すべき事項

- 感染症が流行りやすく、寒暖差によって体調不良も起こしやすい時期になってくるため、一人ひとりの普段の様子を観察や変化を見落とさないように気をつけていく。
- 固定遊具やおもちゃなどの安全点検を行い、誤飲や破損に繋がりそうなものは適宜修理を行う。
- 感染症に留意しながら、玩具や触れることが多い場所は小まめに消毒を行う。
- 室温や湿度等に留意しながら、室温調節をしたり加湿や換気をしたりする。

## 今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

### 製作

- かわいい！みの虫製作／落ち葉でポンポン／紙皿でフクロウさん

### 歌

- でぶいもちゃん ちびいもちゃん／きくのはな／もみじ

### 絵本

- いいおかお／くまさん おでかけ／ねてるの だあれ

### 手遊び

- やきいもグーチーパー／大きなクリの木の下で／やさいのうた

## 室内室外遊び

- 電車ごっこ／どんぐりころころお絵描き／大地の窓

## 行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 文化の日（11/3）
- 七五三（11/15）
- 新嘗祭（11/23）
- 勤労感謝の日（11/23）
- 絵本の日（11/30）

## 食育

- スプーンを正しい持ち方で持ってみようとする。
- 様々な食材に興味を持ち、自ら進んで食べてみようとする。
- 食事の間は座って過ごし、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しく進める。
- 保育者と一緒に食事の挨拶をする。
- 食後は手や口を拭いたり、エプロンを片付けようとする。
- 椅子の高さやテーブルとの距離を整えてもらい、適切な食具を使って心地良く食べる。

## 地域と家庭との連携

- 室内は暖かく、戸外では寒い日も増えてくるため、体温調節のしやすい服装をお願いします。また、着替えも調節しやすいものを準備してもらおう。
- 流行りやすい感染症についてお手紙を出したり掲示板に掲示したりし、対処法や予防について知らせていく。また、園や家庭で体調不良が見られた場合には、双方ともに連絡をしっかりと行うようにしていく。
- 園庭開放や育児講座についてなど、お知らせを掲示する。
- 身の回りのことに意欲的に取り組む姿を伝え、着脱しやすい衣服や靴等の協力をお願いします。
- 寒さからトイレトレーニングが進まなかったり、失敗が増えたりすることもあるが、保護者と子どもの思いを大切にしながら無理なく関わっていけるようにする。
- 自己主張する姿を成長と捉え、家庭と園で丁寧に関わっていけるよう共有していく。

## 自己評価

- 励ましたり見守られたりしながら、苦手なものも自分で食べてみようとしていたか。
- 保育者に援助してもらいながら、自分でズボンの上げ下げを行うことができたか。
- 脱いだ靴や衣類を自分のロッカーに入れようとしていたか。
- 秋の自然に興味を持ち、落ち葉などに触れながら遊ぶことができたか。
- ままごとなどを通して、生活の模倣遊びや再現遊びを楽しめたか。
- 友達に関わって遊び、関心を持つことができたか。
- 戸外で異年齢の友達とも一緒に遊び、年上の友達と触れ合うことを楽しめたか。

- 保育者の真似をしながら身体を動かし、簡単なリズム遊びを楽しめたか。
- 好きな遊具や乗り物などを使って、思う存分遊ぶことができたか。
- 伝えようとしている思いを丁寧に汲み取り安定して過ごせるようにしたか。
- 室内環境を整えたり、衣服調節を行いながら快適に過ごせるようにしたか。
- 流行し始める感染症について把握し、体調の変化に気を付けたか。
- 保育者と仕草や言葉で挨拶を交わすことを喜んでいたか。
- 戸外遊びや運動遊び、散歩を通して全身を動かすことを楽しめていたか。
- 単語や二語文等で発見や思いを伝えようとする姿が見られたか。
- 絵本を見ることを喜び、指差したり好きな絵本は繰り返し楽しめたか。
- 保護者に流行する感染症について知らせたか。
- 保護者と一緒に自己主張する姿を温かく見守れたか。